



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査し、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012/12/7～2016/11/30にご同意いただいた方

【研究課題名】 血液バイオマーカーを用いたうつ病と双極性障害の鑑別診断法の開発に関する研究

【研究責任者】 伊豫 雅臣（千葉大学）

【本研究の目的及び意義】

気分障害（うつ病および双極性障害）の患者と健常者とを対象に、血液中のproBDNFおよび成熟型BDNF濃度を測定し、うつ病と双極性障害との鑑別診断補助として応用する。また、気分障害の鑑別診断補助となる新たな血液中の物質（バイオマーカー）を調べることも目的とする。

【本研究に提供している試料・情報】

血液

【問い合わせ窓口】

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)